

じゅぎょうかもく 授 業 科 目	日本語（日韓共同理工系学部留学生専用授業） せんもん き そ り かけい じじょう いぶんかてきおう （専門基礎日本語、理科系日本語、日本事情・異文化適応）
たんどうこうし 担 当 講 師	うえなかにじゅん かげやまひろし 上 仲 淳， 蔭 山 拓（専門基礎日本語） むらかみやすよ 村 上 康 代（理科系日本語） かげやまひろし 蔭 山 拓（日本事情・異文化適応）
アドバイザー・ コーディネーター	アドバイザー：むらおか たかこ 村 岡 貴 子（国際教育交流センター） にしむら けんいち こ ー ー ディネーター：西 村 謙 一（国際教育交流センター）
ようび じげん 曜 日 ・ 時 限	「専門基礎日本語①」 月曜日・2 「専門基礎日本語②」 木曜日・4 「専門基礎日本語③」 金曜日・3 「専門基礎日本語④」 金曜日・4 「理科系日本語①」 水曜日・1 「理科系日本語②」 水曜日・2 「日本事情・異文化適応」 木曜日・2
きょうしつ 教 室	吹田キャンパス（月・水・金）：ROOM4 豊中キャンパス（木）：C204, C-S4

もくてき
目 的

日本語科目の目的は、大阪大学入学後の日常生活でのコミュニケーション能力、および大学生活で必要とされる総合的かつ高度な日本語運用能力を養成することである。また、授業は、日本の社会や文化についての理解も深められるようデザインされている。

じゅぎょうがいよう じゅぎょうけいかく
授 業 概 要 ・ 授 業 計 画

プログラム開始後1ヶ月間程度は、日本語の文法を集中的に学習する。その後、「専門基礎日本語クラス」「理科系日本語クラス」「日本事情・異文化適応クラス」の各クラスにおいて、読む・書く・話す・聞くの4技能別に日本語能力を養成する。この2つのカリキュラムによって、総合的な日本語能力の向上および、日本の社会や文化についての理解を深めることを目指す。詳細は別紙の通りである。

きょうざい
教 材

文法等の教科書、漢字テスト用の教材、オリジナルのプリント。その他配布プリント。

せいせきひょうか ほうほう
成 績 評 価 の 方 法

出席点（50%）、課題提出・小テスト（20%）、最終発表（30%）の結果を総合的に判断して行う。最終発表は必須である。なお、出席は90%以上が求められる。

第2次第8期大阪大学日韓共同理工系学部留学生 対象 日本語予備教育

授業概要

◆「基礎日本語文法強化カリキュラム」と「総合日本語カリキュラム」

プログラム開始後1ヶ月間程度は、日本語の文法を集中的に学習する。その後、「専門基礎日本語クラス」「理科系日本語クラス」「日事情・異文化適応クラス」の各クラスにおいて、読む・書く・話す・聞くの4技能別に日本語能力を養成する。この2つのカリキュラム（次ページ図1）によって、総合的な日本語能力の向上および、日本の社会や文化についての理解を深めることを目指す。詳細は以下の通りである。

1 専門基礎日本語

（月曜日2限目・吹田キャンパス／担当：蔭山拓）

（木曜日4限目・豊中キャンパス／担当：上仲淳）

（金曜日3限目+4限目・吹田キャンパス／担当：上仲淳）

プログラム開始後1ヶ月間程度は、日本語の文法の復習を集中的に行い、文法力の向上を図る。また、学期を通して、漢字・語彙力の養成を行う。

プログラム開始1ヶ月後から、大学入学後に必要となるレポート作成に役立つ基礎的な文章表現能力養成を目的とした授業を開始する。

さらに、扱われたテーマに関するディスカッション等を通じて、論理的・批判的に思考する力を養い、

要約文や意見文などを書いて文章表現能力の向上を図る。

2 理科系日本語クラス（水曜日1限目+2限目／吹田キャンパス／担当：村上康代）

本授業は、理科系日本語について理解を深め、関心ある専門分野について短いプレゼンテーションが行えるようになることを目的とする。学生は、予めいくつかのトピックを決め、それらに関する資料や文献を、図書館で、あるいは新聞やインターネットにより調べる。次に、その資料や文献を用いて、他の学生や教師に対してわかりやすく解説し、質疑応答を行う。そういった一連の活動を通じて、定められた時間内に簡潔かつ明快に説明したりレジュメにまとめたりする技能を養成する。プレゼンテーションはビデオ録画しフィードバックを行う。

3 日事情・異文化適応クラス（木曜日2限目／豊中キャンパス 担当：蔭山拓）

本授業は、学生が日本人や日本文化、日本の大学生活に関する理解を深め、日本での生活に十分適応できるようにすることを目的とする。具体的には、資料を適宜速読しながら、日本の社会と文化に関する学習を行い、プロジェクトワーク的な活動を行う。その際、共通教育での勉学にも資するよう、人文社会系の語彙・表現についても学習する。さらに日本人学部生とともにゼミ形式でディスカッションを行う。

☆ ホームルーム（水曜日 12 : 00～12 : 10 /担当：西村 謙一・村岡 貴子）

本ホームルームでは、学習及び生活についてのふりかえりを促すとともに、担当教員が学生に対し、大学の内外において学習者が自ら韓国の文化を日本人に紹介したり日本人と積極的に交流できる機会についての情報を提供し、学生の日本留学がより豊かなものになるよう支援する。地域の学校の生徒達との交流を行う国際理解教育の活動にも参加を促す。

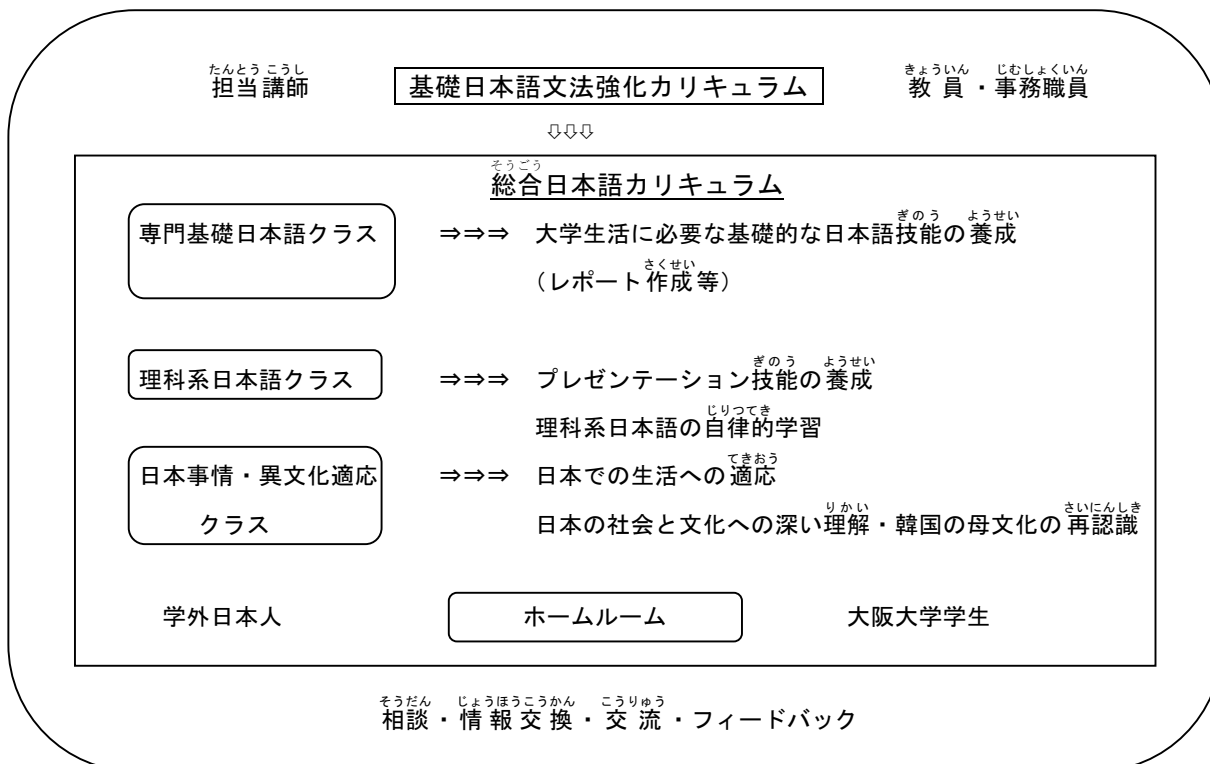


図 1. 第 2 次第 8 期大阪大学日韓共同理工系学部留学生対象日本語予備教育のデザイン